

# 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

## 2022年度 事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

### 【2022年度概要と成果】

- ・2022年度は新型コロナウイルスの継続的な影響があった年となりましたが、様々な工夫をし、助成先団体とのコミュニケーションをとりながら資金助成、伴走支援、組織基盤強化研修を行うことで、アフターコロナを見据えた事業活動を支援することができました。
- ・休眠預金等活用助成事業、千葉県における「子ども第三の居場所」助成事業において、拠点を開設することにより属性にとらわれない多機能型の場づくりが実現し、地域づくりのハブになりつつあります。
- ・資金調達面では、「GIVING for SDGs sponsored by ソニー銀行株式会社」プロジェクトに参加の機会をいただき「子どもの今と未来を支える基金」助成原資のための寄付集めを行いました。改めて関係者（ステークホルダー）のつながりの重要性を認識する結果となりました。

### 【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

#### 1. 助成事業

##### (1) 事業指定助成プログラム

- ・2021年度から継続して1団体1事業の寄付募集を行った。
- ・寄付募集期間：2022年2月16日～2022年5月31日
- ・寄付総額：3,000円／助成額：87,200円

事業名・団体名	目標額	寄付額	件数	助成額
地域でつながる自立支援の輪、みんなの居場所 リバちい事業（NPO 法人子どもの環境を守る会Jワールド）	810,000円	3,000円 (111,000円)	1件 (11件)	87,200円 (5,000円)

※カッコ内前年度分

- ・随時公募の結果、NPOからの申請相談は3件、新規応募は0件であった。

##### (2) テーマ・地域型基金

#### ア. 子どもの今と未来を支える基金（継続）

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休校措置や経済活動の停滞等の影響が及んでいる子どもやひとり親家庭、生活困窮家庭などへの緊急支援活動を支えるために「子どもの居場所緊急支援」としてウェブサイト等を活用し寄付を募った。
- ・2月からは「GIVING for SDGs sponsored by ソニー銀行株式会社」の認定プロジェクト第1号として、「コロナ禍と物価高騰により経済的困難を抱える家庭の子どもたちの『体験の格差』の解消」を目的に、クラウドファンディングサイト「コングラント」を活用して寄付を募った。
- ・今年度寄付総額：1,412,040円／助成総額：0円

#### イ. まつど子育てささえあい基金（継続）

- ・「まつどでつながるプロジェクト」の活動をもとに、松戸市の親子の孤立を予防、制度の狭間にいる人に対する民間の取り組みを支援するための基金を設置し、リーフレットやウェブサイトを活用し、寄付を募った。
- ・今年度寄付総額：50,000 円／助成総額：0 円

#### ウ. 2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金（継続）

- ・2019 年台風 15 号、19 号、10 月豪雨による千葉県内の被災地における支援活動を支えるための基金を設置し、継続して寄付を募った。

- ・今年度寄付総額：8,000 円／助成総額：1,810,000 円

- ・第 4 次公募助成：

対象事業：千葉県内の団体が実施する次の 2 分野の取り組みに必要な活動費、成果物の作成

- ①千葉県内での災害支援活動、復興活動
- ②過去の災害からの気づきや学びを今後の災害に活かす活動

助成対象期間：2022 年 4 月 1 日～9 月 30 日

申請受付期間：2022 年 3 月 14 日～4 月 8 日

申請件数：3 件

採択件数：2 件（内 1 件は 6 月 7 日理事会にて助成取消決議）

- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター（千葉市）	孤立する被災者に継続的な伴走支援をおこなう千葉南部災害支援センター事業	460,000 円

- ・第 5 次公募助成：

対象事業：千葉県内の団体が実施する次の 3 分野の取り組みに必要な活動費、成果物の作成

- ①千葉県内での災害の影響を受けた活動場所の再生・整備に関する活動
- ②千葉県内での災害支援活動、復興活動を通じて顕在化した地域の課題に対する活動
- ③過去の災害からの気づきや学びを今後の災害に活かす活動

助成対象期間：2022 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

申請受付期間：2022 年 8 月 1 日～8 月 26 日

申請件数：6 件

採択件数：4 件（内 1 件は採択後辞退）

- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
市原米沢の森を考える会（市原市）	米沢の森「花立野広場山桜と菜の花畑」の周辺災害復興整備	500,000 円
特定非営利活動法人たてやま・海辺の鑑定団（館山市）	沖ノ島森の再生「学びのプロジェクト」2～沖ノ島森の再生から地域の未来を捉える～	600,000 円
特定非営利活動法人光と風（旭市）	ヒトとモノとが物語るプロジェクト	250,000 円

#### エ. 休眠預金等活用助成事業「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」（継続）

- ・本助成事業は、国及び地方公共団体が対応することが困難な社会的課題の解決を図り、民間公益活動の自立した担い手の育成並びに民間公益活動に係る資金を調達することができる環境を整備することを目的とし、「民間公

益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（「休眠預金活用法」）及び同法施行規則等関連法令の規程にもとづき実施する事業である。

- ・当財団は資金分配団体として、民間公益活動の公募、資金助成と非資金的支援を実施している。
- ・資金分配団体事業期間：2020年12月22日～2024年3月31日
- ・財源：休眠預金／助成総額（2022年度分）：30,336,408円
- ・事業概要：児童養護施設入所者、退所者等、適切な保護者の関与がなく強制的に自立を迫られる15歳～30歳未満の基盤の弱い若者に対する、退所前の支援（キャリア教育、生活支援等）の質的・量的拡充と、退所後の支援（就労支援、住居支援、人材育成等）の質的・量的拡充を図り、多様な主体（施設、事業者、NPO、学校等）の連携により地域資源（第一次産業、地域産業、空き家、都市と農村等）を活用した安心して居ることのできる居場所の創出、地域とつながる仕事の創出をすることで、地域において退所した後も中長期につながることのできる社会包摂システムを構築する。
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2021年4月～2024年1月31日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2022年度助成金額
一般社団法人はこぶね	こころをつなぐアフターケア事業～『あなたとともに（友）にいる』オトモダチ作戦～ ／居場所運営、ボランティア・担い手育成プログラム構築	5,716,528円
ちば子ども若者アフターケアコンソーシアム（構成団体：ちば子ども若者ネットワーク、社会福祉法人チルドレンス・パラダイス、NPO法人長生夷隅地域のくらしを支える会）	ちば子ども若者アフターケアネットワーク ／ネットワークづくり、ケア者の人材育成、若者のアドボカシー	8,485,700円
株式会社ベストサポート	大人のTERAKOYA まなぶ！つどう！つなぐ！～ ぼくらはアシタに歩いていく ／就労支援プログラム開発実施、企業マッチング、居場所・シェルター運営、地域連携	8,254,680円
一般社団法人いっぽの会	社会へ『いっぽ』を踏み出す基盤づくり事業 セルフマネジメント（正しくSOSを出せる力をつける） ／シェアハウス運営、生活支援・就労支援、地域連携	7,879,500円

- ・当財団は助成先4団体に対し、伴走支援（事業進捗状況の確認、助言、組織基盤強化のための資金調達支援、人材育成支援、関係各所との調整）を実施した。また、指定活用団体であるJANPIAとの連絡調整やJANPIA主催の研修に参加した。

#### 【研修会・情報共有会】

- ①「組織力強化ワークショップ」（全5回／任意参加）：2022年9月29日、11月1日、12月13日、2023年1月17日、2月20日、千葉市生涯学習センターにて開催  
参加団体：一般社団法人はこぶね、株式会社ベストサポート、一般社団法人いっぽの会  
内容：ビジョン・ミッション、ステークホルダー、事業の整理、ファンドレイジング計画、成果発表
- ②情報共有・交流会：5月19日、はこぶね拠点にて開催  
参加団体：実行団体4団体11名、JANPIA

#### 【勉強会】

- ①「社会的養護事業に関する学び合い」：2022年12月19日、オンラインにて開催

参加団体：一般社団法人はこぶね、一般社団法人いっぽの会、ちばのWA地域づくり基金／他の実行団体2団体、資金分配団体2団体、JANPIA

【ロジックモデル・事業計画作成支援】

中間評価報告を踏まえて、各実行団体のロジックモデル、事業計画の見直しを支援した。アウトカムの発現に伴い、事後評価に向けたアウトカム指標の設定も同時に行った。

【その他】

規程未整備の実行団体に対する作成支援を行った。

オ. 千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援事業（継続）

- ・本助成事業は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む居場所をつくり、そこをハブとして行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくる事業である。
- ・財源：日本財団「子ども第三の居場所」助成金／助成総額：48,695,000円
- ・事業概要：課題を抱えた児童を含む小中高生や、未就学児の親子など多様な人々が参加・交流できる居場所をつくり、地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むとともに、課題を抱える子どもの早期発見や見守りを行う。
- ・当財団は日本財団、各自治体と三者協定を締結し、助成先団体に対し、事業進捗状況及びガバナンス・コンプライアンス体制の確認、助言、関係各所との調整、報告会等を実施した。また、日本財団との連絡調整や日本財団主催の研修に参加した。
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2022年4月～2023年3月31日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2021年度助成金額
一般社団法人かんでんち	木更津市における子ども第三の居場所運営事業	6,680,000円
NPO法人3.11こども文庫	東金市における子ども第三の居場所開設・運営事業	42,015,000円

- ・「つながるかんでんち」報告会：2022年8月29日、木更津市「つながるかんでんち」にて開催  
一般社団法人かんでんちと共催。  
参加者：33名（一般26名／日本財団2名／主催者5名）  
内容：日本財団子ども第三の居場所事業の説明、「つながるかんでんち」の活動報告、意見交換
- ・「おひさまの家」開所式：2022年9月2日、東金市「おひさまの家」にて開催  
参加者：48名（一般26名／メディア4名／関係者5名／主催者13名）
- ・「組織力強化ワークショップ」（全5回）：2022年9月29日、11月1日、12月13日、2023年1月17日、2月20日、千葉市生涯学習センターにて開催。  
内容：ビジョン・ミッション、ステークホルダー、事業の整理、ファンドレイジング計画、成果発表

(3) 冠基金プログラム

ア. さくら基金（継続）

- ・児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集を行った。
- ・今年度寄付総額：315,000 円／助成総額：0 円

#### (4) その他

- ・NPO が地域の共感を直接的な支援に変えて活動し成果につなげていくために組織基盤強化を目的とした連続ワークショップを開催した。(60,000 円)  
「組織力強化ワークショップ」(全5回)：2022年9月29日、11月1日、12月13日、2023年1月17日、2月20日、千葉県生涯学習センターにて開催  
参加団体：3団体(NPO法人はぐくみの杜を支える会、一般社団法人COCOPORTA、NPO法人フリースタイル市川)

## 2. 資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源(人材、物品、情報など)を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行なった。

### (1) 多様な寄付の機会の提供 (今年度収入：307,360 円)

- ・寄付付き自動販売機(支援ベンダー)：新規設置なし、撤去1台(年度末時点6台設置)(133,030 円)
- ・買取寄付プログラム「カイトリ」：実績なし
- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：8ヶ所(3,900 円)
- ・切手・ハガキ寄付(6,687 円)

これらの寄付金は公益目的事業運営として一般寄付金に充当した。

- ・募金箱の設置：1ヶ所
- ・寄付付き商品：認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所(茨城県)発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等を生活クラブ生協の組合員向けに販売しました。(163,743 円)

これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付に充当した。

- ・物品寄付：カレンダー寄贈、飲料寄贈、書籍寄贈

これらの寄贈物品は寄付者の意向に沿って千葉県内の公益活動団体に届けた。

### (2) 情報共有の場づくり

#### ア. 助成事業成果報告会

寄付者への感謝を込めて、助成団体の報告を通じて、寄付がどのように活動団体の成長に役立ったか、課題解決に貢献したかを共有することを目的に開催した(寄付月間賛同企画)。

日時：2022年12月17日13時30分～16時30分

場所：ホテルメイプルイン幕張

報告団体：「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」助成 5団体、「子どもの今と未来を支える基金」助成 4団体、「地域連携型アフターコロナ事業構築」助成 6団体

参加者：41名(助成団体20名／一般16名／主催者5名)

## 3. 助成業務等支援事業

今年度の受託事業はなかった。

#### 4. 他機関等との連携

##### (1) 一般社団法人全国コミュニティ財団協会

- ・全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織である。
- ・当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めている。
- ・今年度は、以下の事業に参画した。
  - (1)理事会、社員総会、会員意見交換会、年次大会への参加
  - (2)会員向け研修会（PO の道具箱／全5回）への参加

##### (2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会

- ・遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が2016年11月に設立された。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画した。
- ・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。今年度の相談実績なし。
- ・「遺贈寄付ライブ（9月28日）」において、当財団の活動・事例紹介を行った。

##### (3) ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関5機関と中間支援組織により2017年1月に発足した組織である。
- ・ソーシャルビジネス支援ネットワーク会議：1回開催
- ・ソーシャルビジネスセミナー&相談会：1回開催  
日時：10月18日13:00～16:00  
場所：CHIBA-LABO  
内容：基調講演、事例発表、個別相談会

##### (4) その他

###### ア. 啓発事業・講師派遣（85,000円）

- ・（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA）主催「2022年度PO2年目研修」に登壇し、事例発表を行った。
- ・（公財）地域創造基金さなぶりのPO育成研修にて、講師を務めた。

###### イ. 他機関との連携協働

- ・千葉県内の支援組織、自治体との情報共有を図ることを目的に、千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議（千葉県主催）に加盟し、ネットワーク会議に参加した。
- ・印西市市民活動推進委員会に委員として事務局長が就任し、委員会への出席、企画提案型協働事業の審査にあたった。

- ・子ども食堂やフードバンクなど食を通じた支援にかかわっている団体が直面する課題を共有し、実施団体や中間支援組織、自治体や企業が相互に連携することを目的に、食でつながる in ちばの会に参画した。

## ウ. その他

- ・助成申請案件以外にも NPO 等からの相談対応を随時行った。

## 5. 財団運営活動

### (1) 情報発信・啓発活動

- ・ホームページのリニューアルを行った。
- ・助成団体の取材記事をホームページで紹介しているほか、公募情報や活動報告など情報発信を随時行った。
- ・年次報告書（カラー16P）を作成し、寄付者や関係者に配布した。
- ・外部からのヒアリングに随時対応した。

### 【メディア掲載】

- ・2月21日チバテレ「ちば朝ライブ・モーニングこんぱす」：『体験』や『学び』を提供し、経済的困難を抱える家庭の子どもたちの未来を支えたい「子どもの今と未来を支える基金」クラウドファンディング開始
- ・3月2日チバテレ「news チバ」：“SDGs 活動”活性化に向け…ちばの WA 地域づくり基金に寄付金贈呈
- ・3月3日東京新聞千葉版：子どもの「体験格差」解消へ「地域づくり基金」ネットで資金募る

### (2) 資金調達活動

- ・理事を中心に新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼、ウェブサイトを活用して呼びかけを行った。
- ・多様な資金を助成事業に活用するために、休眠預金やその他の助成金申請を検討、実施した。

### (3) 当財団への寄付（395,000 円）

- ・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施している。現在サポーターは9名、寄付額は110,000円となった。
- ・その他に、当財団事業運営への寄付として285,000円の寄付を受領した。

## 【法人運営（管理）事業】

### 1. 機関会議の運営

#### (1) 評議員会の開催

- ・第1回評議員会（2022年6月10日19時～20時45分 オンライン）
  - 第1号議案 2021年度事業報告及び附属明細書の承認
  - 第2号議案 2021年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認
  - 第3号議案 理事の選任
  - 第4号議案 監事の選任

## 第5号議案 評議員の選任

報告事項 2022年度事業計画及び予算について、評議員、監事の辞任について

### (2) 理事会の開催

定例理事会は4回、臨時理事会を2回開催した。

- ・第1回理事会（2022年5月16日19時～20時45分 オンライン）
  - 第1号議案 2021年度事業報告及び附属明細書の承認
  - 第2号議案 2021年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認（監査報告）
  - 第3号議案 評議員会の招集日時・内容
  - 第4号議案 常勤役員報酬月額承認
  - 第5号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」第4次助成先団体の承認報告事項 助成事業進捗報告、助成業務等支援事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告
  
- ・第1回臨時理事会（2022年6月7日20時30分～20時55分 オンライン）
  - 第1号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金第4次助成」助成先団体について
  
- ・第2回臨時理事会（2022年6月10日21時～21時20分 オンライン）
  - 第1号議案 代表理事（理事長）選定
  - 第2号議案 業務執行理事選定
  - 第3号議案 副理事長、専務理事選定
  
- ・第2回理事会（2022年9月26日19時～20時45分 オンライン）
  - 第1号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」第5次助成先団体の承認報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告
  
- ・第3回理事会（2022年12月16日19時～20時45分 オンライン）
  - 第1号議案 選考委員の選任について
  - 第2号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」について報告事項 助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告
  
- ・第4回理事会（2023年3月10日19時～20時50分 オンライン）
  - 第1号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」第6次助成先団体の承認
  - 第2号議案 2023年度事業計画及び収支予算書等について
  - 第3号議案 「子どもの今と未来を支える基金」助成実施について報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、資源仲介事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

### (3) 監査の実施

- ・監事が全6回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施した。



- ・2022年5月9日及び5月14日に2021年度の監査を実施し、監査報告書を作成した。また第1回理事会、定時評議員会に出席し、監査報告を行った。

#### (4) コンプライアンス委員会の開催

コンプライアンス規程に基づき委員会を設置し、開催した。

- ・第1回（2022年10月3日13時～14時 オンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当  
議題：県の立入検査の実施報告、法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について

- ・第2回（2023年3月16日13時30分～14時30分 オンライン・対面）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当  
議題：法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について

#### (5) その他

- ・8月3日、県の立入検査（検査対象：平成30年度～令和3年度）が行われ、理事長、事務局長、職員で対応した。

## 2. 役員に関する事項

### (1) 評議員

篠塚泉評議員は、一身上の都合により2022年6月1日付で辞任した。

2022年6月10日の評議員会において、以下の1名の評議員が選任された。

就任（新任）：福島 浩之

### (2) 理事

今期は理事の改選期のため、2022年6月10日の評議員会において、以下の6名の理事が選任された。

就任（重任）：有吉 徳洋、泉 貴嗣、岩永 牧人、志村 はるみ、平井 晋也、牧野 昌子

2022年6月10日の理事会において、理事の中から代表理事及び業務執行理事を以下の通り選定した。

代表理事・理事長 牧野 昌子

業務執行理事・副理事長 有吉 徳洋

業務執行理事・専務理事 志村 はるみ

### (3) 監事

前原東二監事は、一身上の都合により2022年6月1日付で辞任した。

2022年6月10日の評議員会において、以下の1名の監事が選任された。

就任（新任）：石川 智章

## 3. 事務局体制

### (1) 組織体制

期首は5名在籍（内1名が育休）、期末時点で、事務局職員4名が（常勤2名、パートタイム1名、事務局長含む、育休1名）が在籍している。

## (2) 各事業の人員配置

助成事業・資金調達事業担当・受託事業：3名

経理・総務・事業経理：1名

法人管理運営：1名（兼務）

## (3) 職員研修とスキルアップ

- ・助成事業担当業務の理解を深めるためのプログラムオフィサー研修（内部）に職員2名が参加した。
- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）によるプログラムオフィサー研修に職員2名が計2回参加した。
- ・公益財団法人助成財団センター主催「公益法人(助成財団)の会計セミナー基礎編」に職員1名が参加した。

## 4. 寄付者等の情報管理 (Donor Relationship Management)

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っている。

Salesforce利用にあたっては、Salesforce社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいる。

※Salesforce：CRMクラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO法人等への無償提供プログラムなどCSRにも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>

添付資料：

- ・2022年度 ちばのWA地域づくり基金助成等選考委員会選考会開催状況
- ・業務執行理事の職務執行状況報告
- ・間接的な寄付についての報告

**2022 年度 ちばのWA地域づくり基金助成等選考委員会  
選考会開催状況**

**■2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金第 4 次助成**

助成対象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体

募集方法：公募

選考方法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 3 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

- ・日時：2022 年 5 月 10 日
- ・会場：オンライン
- ・選考委員（五十音順・敬称略）：飯田 耕一、岩永 牧人、戸谷 久子

選考基準：

- (1) 公益性：事業の目的、内容が趣旨に合致し、公益に資するか
- (2) 必要性：被災地のニーズを反映したのか、ニーズが把握できているか
- (3) 実現可能性：事業実施が確実に見込まれるか、体制が整っているか
- (4) 事業効果：事業の実施が被災地支援や復興に効果的か
- (5) 資金必要性：資金使途の必要性、妥当性

選考結果：2 事業採択（内 1 件は 6 月 7 日理事会にて助成取消決議）

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

**■2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金第 5 次助成**

助成対象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体

募集方法：公募

選考方法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 3 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

- ・日時：2022 年 9 月 14 日
- ・会場：オンライン
- ・選考委員（五十音順・敬称略）：清水洋行、岩村真奈美、岩永 牧人

選考基準：

- (1) 公益性：事業の目的、内容が趣旨に合致し、公益に資するか
- (2) 必要性：災害時のニーズを反映したのか、ニーズが把握できているか
- (3) 実現可能性：事業実施が確実に見込まれるか、体制が整っているか
- (4) 事業効果：事業の実施が被災地支援や復興、防災・減災に効果的か
- (5) 資金必要性：資金使途の明確さと必要性、妥当性

選考結果：4 事業採択（内 1 件は採択後辞退）

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

## 業務執行理事の職務執行状況報告

### ■理事長

- ・理事会、評議員会出席
- ・2021年度監査出席
- ・各助成事業説明会及び審査会出席
- ・税理士打ち合わせ出席
- ・事務局打合せ出席、会計承認
- ・県立ち入り検査対応
- ・助成事業成果報告会出席
- ・千葉テレビ寄付金贈呈式出席
- ・災害支援基金助成事業 NPO 法人たてやま海辺の鑑定団訪問
- ・休眠預金活用助成事業ちば子ども・若者アフターケアネットワーク面談
- ・千葉県における「子ども第三の居場所」助成事業 NPO 法人 3.11 こども文庫面談
- ・一般社団法人全国コミュニティ財団協会臨時総会、会員意見交換会出席

### ■副理事長

- ・理事会出席
- ・周知活動として、毎月アーティストとともに配信、当財団の活動周知、寄付募集 PR の実施

### ■専務理事

- ・事業報告書作成提出、法人管理業務
- ・理事会準備、運営、評議員会準備、運営
- ・コンプライアンス委員会開催
- ・職員採用活動、研修企画実施
- ・法人会計、労務管理
- ・補助金、助成金申請
- ・契約文書の発簡
- ・各助成事業進捗確認、報告書まとめ等
- ・県立ち入り検査対応
- ・千葉テレビ贈呈式出席
- ・全国コミュニティ財団協会年次大会、臨時総会出席

### ■理事長（決裁）

- ・2022年4月1日 災害支援基金助成選考委員委嘱の件
- ・2022年4月1日 日本財団「子ども第三の居場所」コミュニティモデル運営事業助成契約締結の件
- ・2022年4月11日 木更津市・東金市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデル助成事業契約締結の件
- ・2022年5月25日 災害支援基金第4次助成先団体覚書締結の件
- ・2022年7月1日 税理士顧問契約締結の件

- ・2022年8月25日 災害支援基金助成選考委員委嘱の件
- ・2022年9月30日 災害支援基金第5次助成先団体覚書締結の件
- ・2023年3月27日 日本財団「子ども第三の居場所」コミュニティモデル運営事業助成契約締結の件

以上

## 間接的な寄付についての報告

### ■寄付付き自動販売機（支援ベンダー）設置場所

- ・株式会社エスプールプラス わーくはびねす農園（船橋市）2台
- ・有限会社飯田産業（千葉市）1台
- ・株式会社ソーケン製作所（市川市）1台
- ・ホテルメイプルイン幕張（千葉市）1台
- ・のぞみのマルシェ（袖ケ浦市）1台→2月撤去
- ・NPO 法人みらい工房（茂原市）1台

### ■使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置場所

- ・生活クラブ虹の街
- ・コープみらい
- ・NPO 法人子ども劇場千葉県センター
- ・認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
- ・多世代交流拠点おおなみこなみ
- ・あすみが丘ガーデンコート自治会
- ・大和ハウス工業株式会社千葉中央支社
- ・四街道市みんなで地域づくりセンター

### ■募金箱

- ・ホテルメイプルイン幕張

以上